

平成26年度 現役チーム 近況報告

長野吉田高校
男子バスケットボール班
顧問 西澤 潤也

OBの皆様方には、日頃よりご指導やご支援を賜り、感謝申し上げます。

現役一・二年生による新チームもようやく土台が出来はじめ、行動やプレーにも責任感が見えるようになってきました。過日、長野県新人体育大会が長野市で行われ、準々決勝で松本第一高校に敗れ、ベスト8で大会を終えました。最終スコアこそ離れましたが、相手に余裕を与えることなく戦えた内容は、次につながると感じております。

大会前には、お忙しい中にもかかわらず、吉田クラブの先輩方の胸をお借りすることができ、誠にありがとうございました。もっと沢山の機会を作りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。良いご報告ができるように努力を続けていきたいと考えておりますので、今後も変わらぬご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

吉田だより

長野吉田高校
バスケットボールOB会
クラブ便り編集
責任者：吉田知実
平成26年12月発

- 《12月号目次》
- 現役チームの近況報告
 - 吉田クラブ、県総合選手権初優勝！
北信越総合選手権の報告
 - OBからの近況報告(第56期生 山田潤)
 - クラブ選手権速報！！
 - 会費納入状況及び会費納入呼びかけ

大会名		対戦校	結果	スコア
県高校選抜大会	一回戦	松本第一高校	×	61 - 73
	二回戦	長野商業高校	○	128 - 50
北信高校新人大会	準々決勝	須坂東高校	×	53 - 66
	敗者復活戦	長野高校	×	64 - 71
	7位決定戦	中野西高校	○	80 - 72
	一回戦	岡谷南高校	○	67 - 58
県高校新人大会	二回戦	岩村田高校	○	94 - 78
	準々決勝	松本第一高校	×	73 - 92

九月下旬に佐久市をメイン会場に開かれた「平成二六年度長野県総合バスケットボール選手権」において、吉田クラブが初優勝を達成し、北信越総合選手権への出場権を獲得することができました。

今年度七月に行われた県一般大会でも久々となる優勝をおさめていた吉田クラブ。その勢いのまま、この県総合選手権を迎えました。第二シードで二回戦から登場し、「全員バス



初優勝！

ケ」で順調に勝ち上がっていきました。準々決勝で迎えたスカイアーツは、昨年度の県クラブ選手権で惨敗を喫した相手。それ以降も負けが続いており、苦手意識が残る相手でした。しかし、序盤から相手の中心選手を厳しいマークで封じ込み、終わってみれば三十五点差の大差をつけて圧勝！さらに勢いをつけて準決勝へと進みました。

準決勝の相手は、県一般大会決勝戦で対戦した信州大学。インカレ予選を目前に控え、一人ひとりのコンディションもチーム状態も高まっている相手でした。しかし、前回の対戦で勝ち方を覚えた吉田クラブは、時折ひやっとする場面もありましたが、常時リードを保ちながら十六点差をつけ決勝へと駒を進めました。

決勝戦の相手は、最大のライバル ANTELOPES。前回の県一般大会では、最後までもつれる接戦で勝利した相手でした。ゲーム序盤はお互いに相手の出方の様子を伺いながらスタート。しかし、徐々にインサイドでの激しい体のぶつけ合いや、ガード陣の熱い一対一が出てきます。前半は吉田クラブが若干のリードをして折り返し、見事だったのは3クォーター。インサイドを中心に、オ

フェンスのきっかけをつかみ、一気に差を広げました。最終的には、二十点以上の差をつけて快勝！見事初優勝をすることができました。優勝の後は、恒例となった清水監督の胴上げ！みんな喜びを分かち合いました。

県総合選手権で優勝し県の代表として北信越総合選手権への出場権を獲得することとなり、ここでも優勝すると、元旦から始まるオールジャパン（全日本選手権）へと進むことができます。吉田クラブ初のオールジャパンを目指し、挑戦が始まりました。

県総合選手権から一か月後の十月二五日から二六日に、新潟市亀田総合体育館を会場に北信越総合選手権が開かれ、我が吉田クラブが長野県代表として出場してきました。

本大会は、各県で勝ち上がってきた一チームのみが集まり、トーナメントで戦います。吉田クラブの一回戦の相手は、福井県代表の名門・北陸高校でした。公式戦で高校生と対戦することが初めてで、メンバーそれぞれがインターネットの動画サイトを駆使して相手チームの情報収集し、試合に臨みました。

北陸高校には、206cmの黒人

選手がおり、それ以外にも県外から集められた身長が高く、シュート力もスピードもある選手が多く集まっています。それに対して吉田クラブは、スローな展開に持ち込み、ロースコアゲームで勝利を狙いました。

前半、相手の黒人選手と外角選手とのスクリーンプレイに振り回されて失点していきました。また、オフエンスでも206cmの黒人選手がゴール下で待ち構えており、思うようなプレイができずに不利な展開が続きました。しかし、吉田クラブが誇るシューター・岡宮の3Pで何とか食い下がり、一桁のビハインドで後半に望みをつなげました。

後半序盤、追い上げたい吉田クラブでしたが、ファールトラブルに陥れ、一時は二十点以上も差をつけられます。「ここまでか」という雰囲気の中、またしてもシューター・岡宮の連続3Pや、インサイドの要・宮下のナイスディフェンスもあり、4クォーターで1点差まで詰め寄りました。しかし、最後の最後で相手の鍛えられた体力を生かした速攻、正確なミドルシュートを抑えることができず、惜しくも敗れてしまいました。善戦はしたものの、非常に悔しさの残るゲームとなりました。

吉田クラブの若返りが進み、県総合選手権を優勝するまでに力がついてきました。年齢こそ違えども、「バスケットが好き」という思いが集まった仲間同士で互いに厳しく努力し合っただけでここまでできました。しかし、「まだまだ上には上がたくさんいる」ということを実感した二日間でありました。メンバーからも、「やっぱり負けるのは悔しい」という声が多く聞かれました。これからも吉田クラブの更なる活躍を目指し、チーム一丸となって頑張っていく所存です。本大会に際しまして、OB会の皆様から多くの応援・ご支援を頂きました。本当にありがとうございます。

(文責 吉田 知実)



次こそは、オールジャパン！

梓川中学校での指導

第五十六期 山田潤

一昨年、念願叶って教員採用試験に合格でき、昨年度より松本の梓川中学校に赴任しました。初めての担任業務に加え、初めて男子バスケットボール部の顧問になりました。今まで女子の指導しかしたことがなかったのですが、同じコート、同じルール、ボールは少し大きめくらいで同じようにやれば大丈夫かな!?なんて思っていました。実際は別物の競技でした。運動能力、技能、バスケットボールってこんなに難しかったの!?と考えさせられる場面がたくさんありました。教えて言うなら、自分がプレーした方が楽。さらに言えば試合になれば我を忘れる。緊張で力を発揮できない。そして勝てない。課題は山ほど・・・この現状に今までの自分のバスケット環境が当たり前のものではなかったのだなと感じました。正直今もまったく結果は出ません。私自身が日々勉強で試行錯誤です。しかし、その中で気づく

くともあります。一つ一つの技術、そして意図、意識、考え、指導者のこだわりもあれば、普遍的な技術もあります。バスケットボールというスポーツの奥深さ、難しさ、楽しさをどう考え、伝えるか、そして特に松本市は部活動自体が制限もかかる中での指導になります。なんとかチームを良い方向に持っていきたいと考えております。経験が無いので、諸先輩方ともまた、バスケットボールについての意見交換をさせていただきたいとも考えております。

話は変わりますが、私も未だに吉田クラブで細々とプレーさせて頂いています。今年度、他チームよりインサイドの宮下さんに加わっていただき、選手層の厚みを増し、さらに若手の頑張りにより、七月の県一般、九月の県総合では優勝することができました。一人だけが頑張るのではなく、全員で勝利を目指そうとする姿が、優勝に繋がっているように感じます。まさに one for all all for one といったチームになってきたと感じています。

実は記事を書いている明日は、クラブ選手権です。そしてこの吉田クラブだよりが出される頃には結果はもちろん、もしかした北信越クラブに参加!?、はたまた全国クラブ出場!?・・・どうなっているでしょうか?楽しみです。

「勝負に絶対はない」 安西先生ではありませんが、だからこそバスケットボールは楽しい。だからこそ私たちはバスケットボールをやる、指導する、そしてバスケットボールで繋がっている。そんな風に感じます。

拙い文章で申し訳ありませんでした。今後ともよろしくお願致します。



速報!!県クラブ選手権惜しくも三位

今月の七日、十三日、十四日と三日間の日程で長野市をメイン会場に開かれたクラブ選手権に、吉田クラブが出場しました。結果は惜しくも三位でしたが、今回の北信越クラブ選手権が記念大会で、各県三位まで出場することができるということで、何とか北信越には駒を進めることができました。

七月の県一般、九月の県総合と、年間の四つの大会の二つを制覇して迎えた今年最後の大会である「県クラブ選手権大会」。

昨年度は準決勝で敗れて四年ぶりに北信越クラブ選手権大会に進めませんでした。その悔しさをバネに、一年間努力し、本大会に臨みました。

二回戦からの登場で、二回戦、三回戦と順調に勝ち上がりました。準々決勝では、最近若返り成長著しい東海第三シーガルスとの対戦。序盤から大量リードしな、終盤では相手の驚異的な3Pで詰め寄せられました。が何とか勝利をし、準決勝へ進みました。

準決勝は、「事実上の決勝戦」とも言えるアンテロープスと

の戦い。前半から流れをつかんだ吉田クラブは二〇点近く差をつけますが、後半から足が止まってしまい相手のリズム良い攻撃を止められず逆転負け。非常に悔しい敗戦となりました。

北信越出場権をかけた三位決定戦では、よく練習試合をさせてもらっているデベロッパと対戦。相手の高さにリバウンドを取られて失点することもありましたが、優位に試合運び勝利。何とか北信越の出場権は獲得することができました。

今大会は長野市での開催というところもあり、足元の悪い中、多くのOBの皆様が会場まで足を運んで応援してくださいました。しかし、三位という悔しい結果となり申し訳ありません。二月七日から八日に、新潟県柏崎市で開催される北信越クラブ選手権では、長野県の代表として全国クラブ選手権の出場権獲得を目指して頑張ってください。OBの皆様のお声援、よろしく願います。

吉田クラブ ホームページ開設!

前号でもお知らせしましたが、長野吉田バスケットボールクラブのホームページが公開されました。Homepage 担当 佐藤 良幸副幹事長(26期) 小野塚隆康さん(42期) 山口 岳彦さん(42期)を中心に作成を進めていただき、吉田バスケ班の歴史とつながりを感じることで、素晴らしいホームページになっています。みなさんもぜひご覧ください。

下記の URL か、QR コードからアクセスできます。広くPRをお願いします m(_)_m

《URL》↓ 《QRコード》→
<http://www.n-yoshida-basket.com/>



全クラ目指し、頑張ってきます!

H26 年度会費納入状況及び会費納入のお願い

[H26 年度会費納入者]

小林弘呼、押田郁雄、戸津幸雄、直江勇、小林慧歩、内山尚之、戸谷章、中村盛男、小林和夫、宮原清、中村重美、橋詰武人、太田哲男、山岸宣明、石井栄二郎、星沢勝利、岩崎敬二、牧野菊實、中澤豊和、白谷秀明、藤澤和、柳沢守、小柳誠、酒井一、柳見沢宏、和田哲男、藤澤賢一、金丸和博、清水信行、佐藤良幸、広田信一、武井忠志、大屋康秀、伊藤幸広、荒木博明、高池一昭、田中幸一、赤塚和夫、荒井秀敏、早川尚希、佐々木明、塚田壮一、竹村昇、山口正樹、小林和幸、山寄康志、小松満、伊藤治彦、松澤憲、野口麻友、小沼義博、小野塚隆康、蜜沢大輔、大内一志、西澤拓真、大屋秀作、渡辺悠太、山田新、中村星羅、池田哲也、塚田真司、飯島雄樹、平井慶、伊藤純一、市川尚道、小池翼、荒木心太、大池慎、唐澤栄作、松島進之介、村田翔太郎、辻中健斗、前島大樹、杉本将太、北原伊織、宮下和史、瀧澤柳介、豊田浩貴、本藤拓哉、上山 翔也
 藤原惣一、齋藤利正、白谷英之、相馬達男、村田積治、山下亨、宮崎隆美、荒木志勇人、依田隆史、宮崎司、依田将宏、清水克哉
 (H26.12月現在 90名)

[納入方法]

1. 幹事等へ直接手渡し
2. 郵便局振込用紙にて納入
3. 八十二銀行振り込み
 ・支店名 長野市役所支店 ・普通口座 108461 ・長野吉田バスケットボールクラブ

ご協力 よろしくおねがいます。